

市民協働のまちづくり懇談会 開催状況

1. 開催日程

平成 23 年 6 月 3 日(金)	各行政区区長等
6 日(月)	各集落農家組合長
8 日(水)	農村環境保全組織、クロッカス日本一活動組織
10 日(金)	農業生産組織・法人、直売所組合
13 日(月)	商工会各部会、建築組合、理容組合
17 日(金)	保内小学校 P T A、学区内地区 P T A
20 日(月)	金屋小学校 P T A、学区内地区 P T A
22 日(水)	荒川中学校 P T A、学区内地区 P T A
今後の予定	
24 日(金)	体育協会、スポーツ少年団保護者
27 日(月)	J A、商工会、漁協
29 日(水)	青少年育成市民会議、老人クラブ連合会、交通安全協会
7 月 1 日(金)	民生児童委員、社会福祉協議会、人権擁護委員、保護司
4 日(月)	特色のある緑の公園をつくる会、あらかわ婦人会、 夢絵本野いちご、食生活改善推進委員、配食ボランティア
6 日(水)	文化協会、各サークルの代表者
8 日(金)	漁業組合組合員
20 日(水)	消防団
22 日(金)	伝統芸能保存会
29 日(金)	農家球根部会

2. アンケートで提出された意見等（抜粋）

"あらかわ地区の宝（資源）"

- ・日本一の清流「荒川」と豊かな水資源
- ・交通の要衝地にある（J R・高速・国道）
- ・美味しい岩船米
- ・総合運動公園
- ・高坪山
- ・日本一の生産量を誇るクロッカス
- ・各地区に古来伝わる伝統芸能や催事
- ・平坦で肥沃な土地、水田
- ・だしの風
- ・高坪山を中心とする山脈から流れ出る沢水
- ・河川敷ゴルフ場
- ・狭い面積の中に教育施設やスポーツ施設、医療機関も充実しており、安心安全な住みよい環境
- ・ブナ

"あらかわ地区の問題点・課題"

- ・若者が働く場所が少なく活気がない
- ・観光資源が少ない
- ・子供が楽しく遊べる場所が少ない
- ・交通の便が良いので勤務や買い物を域外に求めやすい
- ・クロッカスの生産量の減少（生産農家数の減少）
- ・長寿社会にも関わらず荒川地区の『老人クラブ』の加入者が減少している
- ・荒川にゴミが多い
- ・運動公園は環境や設備は充実しているが、お年寄りが利用するには不自由（交通の手段等）
- ・米以外の特産物が少ない
- ・県立坂町病院の医師不足や総合病院としての機能不足
- ・農業従事者の減少
- ・少子高齢化が進行している
- ・運動公園をうまく活用できていない
- ・商工業に活気がない
- ・地区交流がない
- ・結婚しない人が多い
- ・鳥獣による被害
- ・産業の核となる施設や住民が集うシンボルとなるような施設が足りていない

"あらかわ地区の活性化策"

- ・街並みに花を植えてきれいにする（美化運動）
- ・運動公園を活用し、釣り堀や高坪山の登山道の整備とPR
- ・廃園予定の保育園を地区コミュニティセンターとし、ボランティア等の活動支援の拠点とする
- ・総合運動公園の維持管理（特に草刈り）を地域住民で行う
- ・清流荒川に、家族・友人・地域の人々が集い、安らぎや楽しみを得る賑わいのある空間をつくる
- ・地産の農産物等を提供できる空間・施設をつくる（農業者の生産意欲向上や雇用の創出）
- ・あらかわ地区のクロッカスや荒川を生かしたイベントを開催し、積極的にPRする
- ・村上市全体で実施するようなスポーツイベントを、運動公園で実施する
- ・各地区に古来伝わる伝統芸能や催事の活性化や復活、PR
- ・里山の整備、復活
- ・林道花立切田線の沿道を整備する（ハイキングロード等）
- ・米以外の農産物の生産や、それを使った加工品の製造や研究・開発（特産品を開発）
- ・クロッカスを団地化し、生産者に助成金を出して栽培面積を増やし、観光客を集める
- ・市有地を整備して市民農園として貸し出し、子供からお年寄りまで自然に親しめる環境を作る
- ・B級グルメに取り組む
- ・ショッピングセンターの空きスペースを有効活用する
- ・坂町駅の機関区転車台をイメージしたものを造り、その上に体育館脇の機関車を乗せてはどうか
- ・運動公園付近にトイレ休憩等を含め、道の駅スタイルの箱物を造り、地域活性化に繋げる
- ・大規模ショッピングセンター等企业を誘致し、集客や人口定着での地域活性化を図る
- ・荒川の風を利用して風力発電を設置し、環境に良いクリーンエネルギーを確保